



木刈中タイムズ

笑顔・感動、はつらつ木刈 第11号 令和4年2月7日

(発行者) 印西市立木刈中学校 (住所) 印西市木刈2-1 (電話) 0476(46)1751

生徒目標
笑顔であいさつ
ひびけ歌声
活かそう時間
心で清掃

学校評価アンケートについて



12月、生徒、保護者の方々に学校評価に係るアンケートをお願いしたところ、皆様から多くの回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

いただいたご意見に対してできるだけのお返事を載せさせていただきます。学校といたしましては今回のアンケート結果、ご意見を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かしてまいりたいと考えております。今後ともご理解ご協力をお願いいたします。

◆学校評価の集計結果◆

学校評価の質問項目は印西市共通のものです。評価に『わからない』という選択肢があるため、肯定的評価（『よくあてはまる』と『ややあてはまる』の合計）と否定的評価（『あまりあてはまらない』『まったくあてはまらない』の合計）の合計が100%になっておりません。特に、学校施設・設備や地域人材活用関係に関しては、保護者の方々が本年度来校される機会が少なかったため判断できなかった方が多かったようです。

<考察等>

◇質問項目の評価について

- 教育方針・目標の理解に関する認知についての質問です。生徒と保護者の差が最も大きい項目です。ほとんどの生徒がめあてや目標を知っていますが、保護者の方への周知は不十分です。ホームページや「学校だより」にも記載されていますが、来校していただく機会が、少ない状況であり、掲示物等が目に触れる機会が少なくなっていることも原因と思われます。学校で行われるすべての教育活動の原点でもあるので、今後はさらに覚えていただくよう努力いたします。
- 昨年度にも増して、学習関係において授業や家庭学習の取り組みに関する生徒の自己評価の肯定的な意見は昨年度よりも向上したのがあります。保護者の肯定的評価も同様です。Chromebookの活用が本格的に始まり、授業で様々な資料を見ることができたり、自分の考えや友達の見解を瞬時に比較したりすることが可能となったこと。感染症により長期間のお休みを余儀なくされても、リモート授業を継続して受けることが可能になったことも一因と考えます。一方で、生徒の評価では、家庭学習や課題への取組についての評価がやや低下していることが気になります。学習習慣を身につけることは、その定着を促すとともに、進路目標の達成には不可欠になります。毎日の積み重ねとして大切にしていきたいです。
- もっとも肯定的な回答の割合が大きかった項目は、生徒、保護者ともに「友達を大切にしているか」でした。またこれは、保護者の評価が生徒の評価を上回った、数少ない中の1つでした。感染症対応に追われる期間が長くなり、他者との距離を縮めることに抵抗を感じる時代です。だからこそよりよい人間関係を作りたい。作ってほしいという願いが現れた結果と感じます。
- もっとも肯定的な回答の割合が小さかった項目も、生徒、保護者ともに共通で「保護者・地域の参加」でした。一日も早く感染症が収束することを願うばかりです。可能な限り学校に来ていただいて、保護者会や授業参観などを実施していきます。

◇その他ご意見

○部活動について

今後の為に、部活動の種類を増やして欲しい(下に兄妹がいるので→男子のみ女子のみではなく共学の部活)

⇒部活動に関しては、今年度より国語部と科学部を新設しました。運動部活動の増設を希望されている方もいらっしゃると思いますが、グラウンドや体育館などの活動場所、指導できる職員には限度があることをお含みおきください。本年度は、昨年度同様多くの大会が中止となり、活動の制限をかけた時期もありました。しかしながら、限られた活動でも、生徒の努力でたくさんの成果を挙げました。今できる範囲での活動となってしまいますが、工夫をしながら実施していきたいと思います。保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

○生徒指導について

人数が多い為、先生方の目が行き届かない所があるのではないかと不安に思う時があります。

⇒私たち教職員は、日々一人ひとりの状況を把握しようと努めています。しかし、確かに生徒数も多く、不安になる気持ちも理解できます。だからこそ、気になることがあれば直接お問い合わせいただくことをお願いいたします。保護者の方が気がついたことを教えていただくことで、私たちが新しい発見があるかもしれませんし、その逆もあるかもしれません。今後とも連携を取っていただけたらと思います。

○施設・設備について

・暖房やクーラーの効かない移動教室がある。

・宮下文庫の本が入っているとはいえ、生徒数に対して、図書室の蔵書が少なく驚きました。

⇒エアコンなどの設置は、教育委員会に要望をしてはいるものの、予算が決まっており、特別教室においては設置できていない教室もあります。今後とも引き続き要望していきます。暖房についても同様です。特に現在は感染症の関係で、換気のために窓を開けることが当然になっています。防寒着などを着るなどして対応しています。

図書室については、生徒数に対しての蔵書も少なく、図書室自体も小さいと思います。しかし、それに変わる部屋がないことも確かです。書籍については、市の予算だけでなくPTAからの予算を活用するなど、毎年少しずつ増やしたり新しい物にしたりしています。

○デジタル化の推進をお願いします。

⇒一人一台のChromebookの効果的活用の推進を図ります。家庭、学校間の持ち帰りが多くなり、破損も多くなっています。不注意による破損がないようめご家庭でも管理についてご指導ください。また、ご家庭にも充電ケーブルをご用意いただくことをお勧めします。

○学校・情報公開

コロナ禍ですが、小学校はやっているのに授業参観がないのが残念。先生や学校やクラスの雰囲気わかりません。各部活動の大会の報告が少ない。もっと発信してほしい。子どもに聞いても「わからない」といい、同じ学校内の子どもたちが頑張っている様子は大事だと思います。

⇒授業参観については、リモートによる実施の予定もありましたが、その後リモート授業を行う学級が増加し、機材の不足や安定した通信の維持が困難と判断し断念いたしました。部活動等の生徒の活躍の報告は、学校だよりやスクリレを活用し、今後ともさらに充実した形で行っていきます。

※いただいたご意見すべてにご回答させていただいてはおりませんが、いただいたご意見を念頭に置き、また、改善すべき点は職員間で確認・話し合い等を行いながら進めていきます。また、肯定的評価が高かった項目に関しては、『ややあてはまる』が『よくあてはまる』の評価に移行していただけるように、肯定的な評価をあまりいただけなかった項目に関しては改善を図りながら、生徒をより良い方向に伸ばしていただけるように努めていきたいと思っております。